

力研にたいする駒形氏の案

1月18日、私達京都の研究者が基研へ集り、湯川先生を交えて主として力研の問題について話合いました。湯川先生は1月15日付で力研所長代理駒形氏あてに下のような宛附を出しになり、駒形氏からは1月22日付で湯川先生へ答が返きました。多くの人達の要望がありますので、湯川先生の御了解を得て、ここにお知らせいたします。

問1 現在確定している研究室のスタッフ。

答 とりあえず WATER BOILER の購入も急ぎますので、1月末まではその準備のためカススタッフを主として残して、主任研究員としては、杉本、伊藤 両氏です。

所内には準備室と機材（加速器等）及び計画と実行を担うことは、学術会議の議申し上げでしたが（1月16日に学術会議の副議長（長、伏見）が、原子力委員会及び力研関係者を招いて懇談された。）室の委員は組織上の制約がありまして、更にこの中から今後研究所に入られる方、研究費を配分する方があるものと思います。

尚、準備室の仕事を果たするため——例えば購入機器の仕様書を作る等——若い人と十名ばかり、取敢て採用しました。

問2 研究部門は何と何で、それぞれどの程度の人数の採用を希望されているか。

答 昭和32年までの予定として大体次のように考えておりますが、予算がどの程度分給において認められるかにもよるものと思います。

研究室のみとして

理論物理及び数学	10名	実験物理	25名	電気工学	20名
化学	15	化学工学	10	冶金	10
生物医学	5	総務	若干		

で、その他に 実験助手、計測員、船岡工などがあります。研究室以外には、建設・企画・調査などがあります。

問3 研究所では当面の目標（実験機の建設・運転・利用等）以外の、もっと基礎的な研究をする余地がどれ位あるか。たとえば、中性子物理の部門とか、原子核理論の部門があつて、相当自由に研究ができるかどうか。

答 差し当りの仕事としては、別紙2のように考えております。

原子核建設が当面の目標ですが、基礎部門も重視することは当所の方針の一つでもあります。実際は研究所が軌道にのつてから、この方面に力が入り始めるものと思います。

c111-024-059

す。

問4

今すぐ役に立つ人でなくても、至極をつねに役に立つような人も採用されるか。

答

研究所の本質上、今すぐ役に立つ人でなくとも、能力・素地のよい人ならば、勿論よいわけでありませう。

問5

生人・生人が孤立して入るのではなく、何人かと一緒に呼んで入り、協力して研究していく可能性はあるのか。

答

新しい研究所の当初から派閥などはいまうにつとめなく、人質の配置を「いたしなく」思っています。

問6

応募者の選別はどのようなされるか。(この点について研究者は置も関心をもっている。これについて学術会議の方から学費の奨励をきくようにとの申し入れがあったが、それを決定するならば、例えは学術会議としては、原子力問題委員会にばかりで、専門学者を招いて学術委員会を作る方法も考えられる。)

答

理事・委員 等から 学術委員会を作る予定にしています。

問7

研究成果 発表は自由か。

答

会社の法人がいずれにしても、それぞれの研究所の特色と同じで、ところが別な研究発表方式を考えた方がいいことはいりません。

問8

研究の保障はどうか。

答

設備制度で定められるものでありますが、その現況を一点と差は甚だしいものといえます。

別表(3)

財団法人原子力研究所機構

総務部

秘書課	{	秘書
庶務課		事務
経理課		経理

建設部

建設課	{	建築
		土木
		土地

企画部

企画課
資料課

研究部

第一研究グループ	70	(原子炉)
第二研究グループ	70	(物理及計測)
第三研究グループ	70	(化学、化学工学及材料)
第四研究グループ	70	(放射線障害)
調査グループ	70	
技術工作グループ	70	

別紙(1)

研究準備室 (敬称略。五十音順)

青木大齋	木村大齋	敏道	男夫	(工業技術院電気試験所)
武中橋	山田	義信	彰年	(東京電力株式会社建築課)
久法	藤田	榮一	房一	(東京大学工学部)
矢山	井口	敏夫	吉彦	(東京工業大学理工学部)
山田	田口	隆俊	部	(東京大学理学部)
	貴木	四郎	榮男	(東京工業大学理工学部)
	崎立	三郎		(工業技術院東京工業試験所)
	田太			(東京大学工学部)
				(建築研究所)
				(工業技術院電気試験所)
				(東京大学工学部)
				(科学研究所)
				(工業技術院電気試験所)

外に 杉本朝雄
神原豊三
阿部滋志

別紙(2)

研究部署目

原子炉

W.B.
CP-5 の仕様
国産 1 号炉の設計
Exponential Exp. の準備
Control System の調査

物理及計測

Van de Graaf の仕様
中性子物理関係測定装置設計 及び 測定方法
Simulator の仕様
Detector & Instrumentation

化学、化学工業及核燃料

Hot Lab の設計
Fission Product 分離 } 化学分析装置一般
放射線化学 及 活性化分析 }
Reprocessing & Waste Disposal 関係調査
Fuel Element 一般金研究装置一般
固体物理関係調査
核燃料試験機

放射線障害

環境衛生対策
気象観測塔の仕様
健康管理の準備

調査

動力炉
Isotope 利用
Fusion

技術工作

Mechanical shop
Electronic shop
Glass work